

リーディングDXスクール事業【実践事例】

苅田町立与原小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】 自己選択・自己決定の場の設定

① 個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

1 単位時間の学習過程として、課題設定を全体で行った後、学習方法・表現方法を自己選択・自己決定する場をつくり、主体的に学べるようにした。



学習活動

- ・一人て
最後まで考え続ける・学びを深める・
タブレットで友達の考えを参考にする
- ・友達や先生と
一緒に考える・考えを説明し合う

表現方法

- ・ノート
- ・「場合を順序よく整理して」ポータルサイト

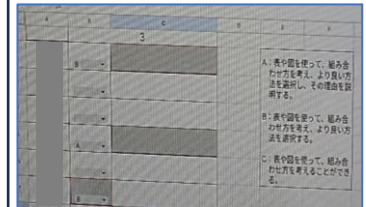
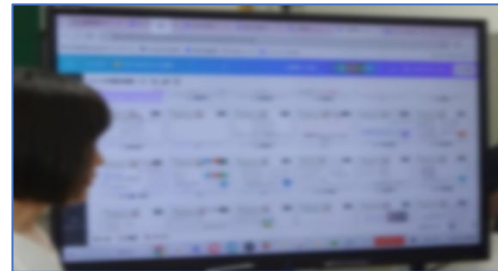
学習活動と表現方法の提示

- A 表や図を使って、組み合わせ方を考え、
よりよい方法を選択し、その理由を説明する。
- B 表や図を使って、組み合わせ方を考え、
よりよい方法を選択する。
- C 表や図を使って考え、組み合わせ方を考え
ることができる。

ルーブリックの提示



タブレットとノートの自己選択 電子黒板に全員の学習過程をあげた。



ルーブリックをもとに
振り返り、他者参照を可
能にした。

これまでの学び方を生かして、学習活動と表現方法を自己選択・自己決定する場を設けた。学習活動においては誰と学ぶのか、表現方法ではノートとタブレットのどちらで表現するかを選択させた。その際、ルーブリックを提示し共有することで、子どもたちがどのように学んでいくとよいか具体的にイメージできるようにした。

学習過程や振り返りを他者参照できるようにしたこと、お互いに学び合ったり、よりよい表現方法を取り入れたりする姿が見られた。

展開における教師の支援は、今後の課題ではあるが、コーチングの関わりが大切ではないかと考えている。